

2008 くすのき

VOL.19

樟
樹

90周年特集

樟樹会 新居浜西高等学校同窓会

校内こんなところ(こと)ご存じですか？

● 第9回 ●

復元された“四恩の鐘”



記念会館一階ロビー、校章レプリカの隣に鎮座する鐘。
ここは高校、お寺ではないのに何で鐘が？

『白石校長は昭和10年3月、ポケットマネーで高さ30センチのつり鐘を購入、中庭に小さな鐘楼を建てた。『四恩の鐘』と言う。正午になると、さわやかな音が四度響き渡った。生徒たちはその場で鐘楼へ向かって立ち止まり、心を静め、自己の行動に反省を求めるのであった。』(創立80周年記念誌より)これは新居浜高等学校当時、昭和10年3月8日 四恩の鐘撞初式の模様です。人間が受ける四つの恩に感謝し、一日を悔いなく送る願いを込め毎日昼食前に学校長がつく慣わしであったそうです。この前後に制定された女学校校歌や、校章にも『四つの恩』が表現されています。女学校の先輩の方々は、『四恩の鐘』を学園の誇りと称されるほど懐かしく、強く印象に

残っているそうです。ただ残念なことに、昭和11年11月10日、金属応召のため、供出されました。

女学校の教育理念を継承してきた家庭科が今年3月閉科となるのを記念して、70年ぶりに復元されましたが、資料となる当時の写真は非常に少なく、重量108トンの大鐘でも有名な、中国蘇州市『寒山寺』にある多くの鐘を参考とし、消防署の半鐘を借用、工業高校の先生に図面設計を依頼、住友金属鉱山のご協力により道前工業にて制作してもらったそうです。鐘にも男女の別があるらしく、これはスカートの裾の形をしているのです。『多くの方のご協力があったからこそ完成できました。』と語る家庭科担当の加藤先生。書道担当の森本先生による額装の文字は、篆書体(秦の時代の最も古い書体)から引用し、書かれたものです。

四つの恩とは、
天地の恩・父母の恩・師の恩・衆生の恩をさします。
記念会館に足を運び、ひととき昭和の時代にタイムスリップしてみませんか。

旧旗竿



旧体育館のグラウンドに面した壁面から空に向かって国旗・校旗掲揚のポールが突き出していたのを覚えている卒業生も多いのではないだろうか。この体育館は平成12年9月に取り壊しとなり、このポールのみが残されました。
このポールはプールサイドのフェンスにくくり付けられ、第二の人生(竿生)を務めておりましたが、事ある毎に「何とかしなければ」と言われ続けて7年間、老体(老竿)に鞭打ってがんばっていたことでしょう。
この度90周年を記念して、立派な後継者ができました。老竿にとつてもこの上ない喜びでありましょう。
撤去される日も近いであろう旧旗竿さんに「ご苦労様でした」。



「新 国旗校旗掲揚台」

会長あいさつ



創立90周年記念事業のお礼

樟樹会会長 畑田 雅敏（昭和44年卒）

皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃は同窓会活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。誌面ではございますが平素の疎遠をお詫びし、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年8月末に90周年記念事業の一つである国旗校旗掲揚台が無事完成し、9月に行われた運動会では新調された掲揚台で掲揚を行い誇らしく競技をしております。10月26日には創立90周年記念式が挙行され、午前中の記念講演では、41年卒で大和ハウス工業株式会社代表取締役社長の村上健治先輩により「人間万事塞翁が馬」のテーマで高校卒業後から現在に至るまでの人生経験談を話されました。生徒たちには大成功された先輩の話を目の当たりにして、大変な感動と熱い思いを得ることが出来たことと思います。また、午後は芸術鑑賞会として46年卒でトランプ奏者の曾我部清典先輩とブラスバンド部とのコラボレート演奏会が行われ、伝統とテクノロジーの感性的貴重な体験が出来ました。

お陰様で無事、創立90周年記念事業は本年2月に刊行された創立90周年記

念誌で幕を閉じることが出来ました。

これもひとえに、母校並びに同窓会・PTA会員各位及び有志の方々のご賛同、ご協力の賜物に他ならないと深く感謝申し上げます。ここに改めて心より深くお礼申し上げます。

本年2月29日に行われました同窓会入会式では、平成19年度卒業生学年幹事の神野翔君より、「名誉ある新居浜西高等学校同窓会に入会させていただくことを大変光栄に思い、先輩方が築き上げた素晴らしい伝統に、新たな1頁を刻み込むことが出来るよう、日々精進を重ねます」との入会の力強い挨拶をいただき、同窓会として行ってきた行事や活動が、後輩たちの役に立っているのだと言う実感を寄せたのは私一人ではなかったことと痛感させられました。

次は、記念すべき創立100周年です。同窓会役員一同、本年度より組織も充実させ、皆さんのお役に立つ活動を全力で取り組んでいく所存でございます。同窓生の皆様には、これまで以上のご理解、ご協力をお願い申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。



創立90周年記念特集

樟樹会10年の歩み

～物心両面にわたる母校への支援～



同窓会誌「樟樹（くすのき）」
平成2年7月創刊
以後、毎年7月に刊行、現在は19号

合格たこ焼き

同窓会誌「樟樹」編集委員長 近藤博司（昭和44年卒）

7月の西高祭のバザーで販売しているたこ焼きに“合格たこ焼き”と命名したのは私です。同窓会誌「樟樹」14号（平成15年）では、ただ単に“たこ焼き”となっています。この号の編集委員会でお話です。「ただの“たこ焼き”ではおもしろくない、ここは進学校なのだから、このたこ焼きを食べたら志望校に合格するという名物にしたらどうか」と提案しましたところ、元来わいわいがやがやとやっている編集委員会のメンバーですから、即、賛同をいただき、その2ヵ月後の西高祭では、事務局の今井さんが（合格）のシールを見つけてきて、パックの上に貼り付け“合格たこ焼き”の誕生となりました。

元旦にローカに机を出して勉強すると…の西高ジンスに続くものになればと思うのですが、認知度はいま一つ低く、（合格）のシールを見て、品質合格、あるいは衛生上安全などと受け取られているのではないかと心配しております。

今後は、①大きめの特注シール“合格たこ焼き”を作成する。②貼り付け前のシールを持参し、一宮神社でご祈禱していただく。などの提案をして、西高名物に育ててくれれば願うのは、名付け親だからでしょうか。

後日談 上文がきっかけとなって左のシール（原寸大）が作成され、本年の西高祭から使用しました。また、下は笠原久規生徒会長が、代表で一宮神社に参拝した写真です。



西高祭（恒例となった同窓会運営「合格たこ焼き」の屋台）



卒業生より寄贈のトレーニングマシンで筋トレ室ができました。（H.17.3月完成）



同窓会入会式（昨年度）

樟樹会10年・主な出来事

- 平成10/ 8/ 1 会長交代 世良賢克から長野文彦へ
- 平成11/ 5/17 事務局長 今井陽子(昭和49年卒) 着任
- 平成12/ 6/20 樟樹会ホームページ開設
- 平成12/12/ 2 愛媛県立新居浜西高等学校体育文化育成会の設立
会長 長野文彦
高校サッカー全国大会出場支援募金活動
- 平成13/ 3/27 樟樹会会員名簿2001年版発行
(編集・出版 株式会社サラト)
- 平成13/ 6/19 西高祭支援活動バザー出店、生徒会に寄付金贈呈
たこ焼き・焼きそば・フランクフルト・ラムネ・
西高どら焼き(2005年から)販売
- 平成13/ 8/ 4 樟樹会会則 第3章役員第7条により、理事再
編成、学年幹事新設
樟樹会会則 第6章会計第25条により、運営
会費納入制度導入
- 平成14/ 7/15 運営会費納入開始
- 平成16/ 3/31 体育文化育成会により、『夜間照明設備』設
置施行、引渡し完了
- 平成16/ 8/ 7 会長交代 長野文彦から畑田雅敏へ
- 平成18/ 2/24 個人情報保護法対策として、会員個人情報
データ投下管理
- 平成18/ 5/15 愛媛県立新居浜西高等学校創立90周年記念
事業支援実行委員会発足 会長 畑田雅敏
募金趣意書により、募金活動を開始
- 平成19/ 3/25 樟樹会会員名簿2007年版発行
(編集・出版 株式会社サラト)



同窓会総会 (H17.8月)



同窓会懇親会 (H17.8月)



同窓会懇親会のアトラクション (H17.8月)

創立90周年記念誌「樟樹90年」から抜粋。



ロックバンド「LUNKHEAD」(同窓生)による
平成17年西高祭にて凱旋コンサート



「日本のお手玉の会」の皆さんをお招きしての「お手玉学習会」

創立90周年記念講演会

演題 人間万事塞翁が馬

大和ハウス工業株式会社 代表取締役社長 村上 健 治氏（昭和41年卒）



した。

昨年10月26日（金）に本校体育館において、創立90周年記念講演会が開催され、大和ハウス工業株式会社代表取締役社長の村上健治氏（昭和41年本校卒業）による講演を拝聴する機会を得ることとなった。「人間万事塞翁が馬」という演題であり、講演要旨は左記の通りである。

＊ ＊ ＊

高校、大学時代には友人が多く、自由闊達に日々を送りながらも、司馬遼太郎や山本周五郎など、多くの本を読むことを通して、人情の機微や生き方、人生の厳しさなどの多くのことを得ることとなりました。就職を考えるようになった頃、住宅産業は「これから花形だ」と騒がれており、その中の一つであった大和ハウスに入社が決定しま

ほどなく、人生の転機が訪れました。父親が心筋梗塞で亡くなるという突然の出来事が起きました。父親は常日頃、「心豊かにたくましく生きなさい。そして、人との触れ合いを大事に、友達を大切にしなさい。」ということを言われており、そのおかげで人の優れたところを素直に認める術を、自然と身につけることができました。

父の死から一ヶ月後、自身が交通事故を起こしてしまいました。病室で気づくと、青ざめた母が震えながら自分自身が泣いていました。その時初めて、人生というものを本気で考えたような気がします。病床で、父親が就職が内定した息子のために会社帰りに雨に濡れながらも就職祈願をしてくれたことを思い出し、愛情いっぱい育ててくれた両親に感謝しなければならぬと思いました。

父の急逝で、最初の赴任先は東京から岡山支店に変更してもらいました。社運をかけた団地造成をすることが決定し、優秀な先輩が数多く集まってきました。事業の厳しさ、その事業スケールを知り、人との触れ合い、部下の教育など、少しずつ身につけながら管理職として成長できました。岡山で15年間勤務した後、高知に営業部長として赴任し、業績の厳しい店の立て直しを命じられました。人生で一番と言えるくらい、本気で働きました。徐々に成果が現れ、新しい人脈や、部下との楽しい思い出ができました。

しかし、守りの気持ちが出てくると事業が逆回転を始め、立て直すのに二倍、三倍のエネルギーを費やしました。苦い経験であり、良い教訓にもなった出来事でした。凡人が組織のリーダーをするなら、攻めの気構えが必要だと肝に銘じました。

組織のリーダーになるにあたって、いつも言っていることがあります。「職権で人を動かそうと思っても無理だ。自信のある人は少し頭を垂れな

新居浜西高等学校が、創立90周年を迎え大変おめでたい事とおよろこびを申し上げます。月日の経つのは早いものですね。昭和7年の4月に私達は入学いたしました。市内の小学校から寄り集まりました私達は、近くでもありましたので、大勢入学致しましたが、ほかの小学校からこられた中には一人だけで話し相手もなくとても淋しそうでした。後で、その時とても心細かったと話された方もありました。小学校は違っていてもすぐに仲良くなりました。

思い出

詰光 晴子（昭和11年卒）

在学4年の間には戦争が始まり、父や兄が兵隊に行った家庭もありました。家庭の事情もあって、夏休み・冬休みなど休みが続いた後には学校へこられなくなった方もありました。卒業の時は、入学当時より20名程も少なくなっており、66名が卒業致しました。

卒業間近になると、写真屋さんが学校へこられて、放課後、全員卒業記念写真の外に、自由に仲良しの友達とグループで写してくれました。この写真はその時にソテツの前で写したものです。ソテツは今もいきいきと、大きくなっています。私達の思い出の場所として。

卒業間近になると、写真屋さんが学校へこられて、放課後、全員卒業記念写真の外に、自由に仲良しの友達とグループで写してくれました。この写真はその時にソテツの前で写したものです。ソテツは今もいきいきと、大きくなっています。私達の思い出の場所として。

さい。ふんぞり返っていいは人の気持ちは分からない。自信のない人、自分がこんな立場にいいのかと思う人は、ただ一つ、真剣にやることだ。そうすれば、自分のほうが上だと思ってる人も、これだけ真剣にやるというのはすごい、今はおれが勝っているけれども、将来こいつの方が上になるかもしれない、見習わないといけない、思い、どんどんみんなが変わってくる。」

どうして自分のいうことをみんなは聞いてくれないのかと思うとき、自分がふんぞり返って言っていないか、真剣さがみんなから本当に評価されているかを振り返ってください。

また、「小才(小さな才能)は、縁に会って、縁に気付かず。中才は、縁に会って、縁を生かせず。大才は、袖すり合う縁を生かす」という言葉があります。縁を大事に、人脈をどんどん作ってください。「至るところ青山有り」とあるように、自分からその町を好きになれば、どんどん楽しくなります。

企業において、50年そのままの形で立派にやっているところは40%であり、100年になるとわずか3%しか残らないそうです。大和ハウスは2年前に50周年を迎え、グループの中期経営計画としては、1兆7,000億円を売り上げ、1,000億円の利益を

出そうという壮大な計画を立てています。この4、5年は公表した数字をクリアしてきましたが、厳しい外部環境もあり、今期はどうなるか分かりません。しかし、「ようし」と言ってみなが同じ方向を向き、同じ思いでいけば、できない事業などないのです。事業でも何でも、結局は人の力、みんなの力の結集です。

経営者の心得としては、一人でなく全員のレベルを上げることだと思えます。次々に部下を鍛えて人材が育つ企業や事業所でないといけないのです。士気の高揚を図り、やる気をどう引き出すかということが大事なのです。

「平庸なリーダーはただしやべる、よいリーダーは説明する、優れたリーダーは自らやってみせる、そして偉大なリーダーは相手の心に火をつける」。何人かのスーパースターを育ててそれだけのいいのだ、というようなことはいけません。

人の上に立つ者の心得、リーダーの品性四力条として、使命感・無私心・公平公正な心、ロマンがあり、自身も研鑽していきたいと思っています。また、研鑽四力条として、先見力・統率力・判断力・人間力があり、中でも人間力は一生かけて大きくしていくものであり、土台を築くことが大事です。人間力の土台は「志」です。

その上で、組織のリーダーには人望・人徳・器量の三つが必要です。人望は、誠実であり、正直、公正、約束を守るということの積み重ねで磨かれるでしょう。人徳は人に尽くすということであり、感謝の気持ちが必要です。器量はもともとその人に備わっているものと思われがちですが、ほとんどが努力だと思えます。常に大きく構え、おしげずぶつかっていく勇気を持ち続け、自分なりの努力を欠かさないうようにしていれば、器は少しずつ広がり、魅力ある人間に成長するのです。

「人間万事塞翁が馬」という言葉のように、順風満帆のまま人生を送れる人などいません。どんな時も慢心することなく、足元をしつかり見直すことが必要なのです。自分が優秀だからと思っただけでも、そこに止まっていたはいけません。さらに研鑽し、パワーアップして、日本のリーダーになるというくらい志を高く持ってください。自分のために勉強し、自分の人生が豊かになる勉強をし、大きく羽ばたいてください。

母校新居浜西高等学校が今後も100年、200年と未永く発展していくことを念じ、皆さんが心豊かにたくましく、パワーアップした人間に育っていただけるよう、心から祈念し期待しています。



れた玉井英章さんと、新居浜市としては専 た坂本睦美さんにご寄稿をお願いしました。



玉井英章
(たまい ひであき)

「出発点は交通事故」

Profile

昭和44年 3月	新居浜西高等学校卒業
昭和48年 3月	静岡大学人文学部卒業
昭和49年 4月	金沢大学大学院 法学研究科入学
昭和51年10月	司法試験合格 (第31期)
昭和52年 3月	金沢大学大学院中退
昭和52年 4月	司法修習生 (和歌山県で実務修習)
昭和54年 4月	横浜地方検察庁
昭和59年 4月	松山地方検察庁
平成16年 4月	大阪地方検察庁特捜部長
平成19年 6月	最高検察庁
平成20年 1月	和歌山地方検察庁検事正

私は、新居浜西高を昭和44年3月に卒業した後、静岡大学で富士山を眺めながら青春時代を過ごしました。ラグビー部に入りグラウンドで楯円球と戯れる4年間でしたが、卒業を間近に控えた昭和48年2月下旬の夕刻、静岡市内を原付バイクで走っていたところを車に跳ねられ、気が付くと対向車線に倒れていました。その時、この対向車線上を車が走っていたら、私の一生は終わっていたかもしれません。左大腿骨が粉々に砕ける大怪我を負って半年間の入院を余儀なくされ、大学を卒業したものの就職もできない不運を嘆きました。しかし、病院のベッドで毎日天井を眺めるうち、九死に一生を得た偶然に感謝し、なにかに自分を賭けてみようと思いついて司法試験を受けることに決めました。

退院後、松葉杖をつきながら法律の勉強を始め、昭和49年4月に金沢大学大学院に入学しましたが、外国語や政治学など法律と無関係な勉強をせざるを得ず、司法試験に失敗しました。私は、意を決して上京し、司法試験予備校に通いながら背水の陣で勉強し、昭和51年10月、25歳の時に試験に合格しました。このような体験を経て、私は、不運に直面しても、これを克服する目標を設定して諦めずに努力すれば、その境遇を好転させることができると信じるようになりました。

その後、和歌山で実務修習を行いました。自分の性格は裁判官や検事には向いていないと考えていたので、修習を終えれば愛媛に戻って弁護士になろうと思いついて、松山市内の某法律事務所に入ることにしました。実務修習が終盤を迎えて和歌山を離れる直前、和歌山地検の修習生担当のA検事が私の送別会を開いてく

れました。A検事は実に爽やかな方で、私は、その人柄に強く惹かれていました。市内の某スナックでの二次会、A検事が「玉井君、頼みがあるんや」と切り出しました。「Aさんの言うことだったら、なんでも聞きますよ」「そっか、実は検事になってほしいんやけど」「えっ？僕は郷里の弁護士事務所が決まってるんですけど」「断つたらいいじゃないか」私は、とっさに、己の性格や適性に反する生き方を選択することは、自分の殻を打ち破る絶好のチャンスになり得ると考えました。「：わっ、わかりました。でも検事は1年でいいですよ。でも検事は1年でいいですよ。こんな流れの会話でしたが、この夜、私は急ぎや検察の道に進むことに決め、その後、松山の弁護士事務所から断りの電話を入れました。

横浜地検を振り出しに検事生活が始まり、1年間のはずだったのに、いつの間にか30年続いて転勤を10数回繰り返して、各地で実に多くの人と事件に巡り会いました。この間の昭和59年4月から3年間松山地検で勤務し、郷里にいる西高の同級生に暖かく接していただき大変嬉しく思いました。また、平成16年4月には大阪地検特捜部長に就任し、著名な事件の捜査指揮を執ることができたのは望外の喜びでした。そして、今また実務修習を行った和歌山地検の検事正として着任し、当地に不思議な縁を感じております。

私は、プロ意識をもって組織のために行動しようとする者は、同時に、己の個性を活かして人生を意義あるものにしようと努めるのではないかと思います。裁判員制度を含む司法制度改革の大きな波が押し寄せていますが、私は、豊かな自然と歴史に恵まれた和歌山をもう一度じっくり楽しんでみたいと思っています。

今号は、検事一筋、和歌山地検検事正になら 門職(司書)並びに女性初の図書館長となられ



坂本睦美
(さかもと むつみ) 旧姓 中村

「図書館司書として」

Profile

昭和48年 3月	新居浜西高等学校卒業
昭和50年 3月	図書館短期大学卒業
昭和51年 4月	新居浜市役所 (図書館司書として採用される)
平成13年 4月	図書館司書係長
平成18年 4月	図書館副館長 兼司書係長
平成20年 4月	図書館館長 兼司書係長

現在、私は新居浜市立別子銅山記念図書館の館長として「市民に役に立つ図書館」を目指し努力しているところです。昭和48年新居浜西高等学校を卒業し、前身が国立の図書館司養成学校である図書館短期大学(現在筑波大学情報学群)に進み、昭和51年新居浜市役所に図書館司書として採用され、ずっと図書館業務に従事しています。

西高時代の思い出と言えば、自由な校風である印象が強く、校長が「君たちの自主性を信じる。」と宣言し、市内でいち早く男子の制帽がなくなっただけでも自分たちで考え、協力して製作したものです。しかし、卒業が近くなると周囲も進学のため勉強一色になりましたが、父親から「弟がいるし、女は短期大学で良い。」と言われ、私も素直に納得し、国立大学を探したところ図書館短期大学があったわけです。読書が好きで、石川啄木、遠藤周作、吉行淳之介、阿

川弘之、アガサ・クリステイ、エラリー・クイーンなど暇があると片っ端から読んでいた私は「そちらの方面に進むのもいいかも。」と安易な気持ちで東京に出て行きました。結果的には、2年間という短期間でしたが、東京大学で図書館実習をしたり、企業の図書室でアルバイトをしたり、自由で充実した学生生活になり、資格を生かした職業につくことができました。

早いもので、西高を卒業して今年で35年目になりました。実は2003年10月18日に卒業30周年ということで昭和48年度卒業生の同期会がリーガロイヤルホテルで開催されました。市役所に入っている仲間や教師になっっている人、お祭りのために帰郷していた人等約50名余りが集まり、なつかしい思い出に花が咲きました。その後、図書館で顔を合わせる人もでき元気をもらっています。

イメージが強いのではないのでしょうか。本の貸し出し・読書案内はもちろんですが、最近の図書館は、変革してきています。社会情勢の変化に伴い、図書館サービスも多様化を求められるようになり、地域の情報拠点としてのビジネス支援・健康支援、子育て支援、学校支援等を行っています。具体的には、商工会議所や東予産業創造センター等関係機関との連携によるビジネスセミナーの実施、パンフレットやビジネス新刊図書、インターネット端末のある地域活性化支援コーナーの設置、病院との連携による健康講座の実施や冊子類、健康関連新刊図書のある健康支援コーナーの設置、絵本を介して親子のふれあいの時間を持つてもらおうブックスタート事業、子ども達へのお話会の実施、図書館探検ツアーの実施等です。また、今年度から学校図書館支援推進事業も始まり、学校図書館の整備、子ども達への読書指導等も行う予定にしています。このような

図書館施策は、私達司書が考え新しいサービスとして展開してきたのです。

別子銅山記念図書館は、平成4年に開館して今年で16年目になります。開館当時からずっと私は「お話し」に関わっています。絵本の読み聞かせや紙芝居、パネルシアター、エプロンシアター、本の案内等、定期的にしたり、出前講座で学校や高齢者福祉施設等にも出かけています。そこでは、落ち着きのなかった子どもがお話を楽しむようになり読書好きになっていく過程を見たり、高齢者がなつかしそうに昔話を聞き、楽しんでいただいている姿を見ることができず。

私は、生まれ育ったこの新居浜で、子どもから高齢者まで関わりながら好きな仕事ができることに喜びを感じ、これからも誇りを持って生きていきたいと思っています。

皆さんも、どうぞ、情報を求めてお気軽に図書館へおいでください。

の 歩 み

夢に向かって

男子ソフトテニス部 主将 渡 邊 翔



平日は、授業が終了して約20分後に練習が始まります。6時間授業の日は3時半から、7時間授業の日は4時半から、第2グラウンドにソフトテニスボールを打つ音と、大きな声が響いています。日の長さによって終了時刻は異なりますが、僕たちはボールが見えなくなる、日没まで練習をしています。今までは部室に電気が通っていません。そのため、平日の練習を終えて着替えようとすると、暗くなっているのです、着替えるのも一苦労でした。

しかし今年には電気を通った部室を作っていただき、より快適に活動できるようになりました。本当に感謝しています。休日は午前8時半から12時半までの4時間練習しています。また、練習の他に、練習試合や大会などにもよく参加しており、充実した活動をしています。このとおり、僕たちはほぼ毎日活動しています。平日はもちろん土・日・祝日や長期休暇中なども含めてです。その度に顧問の山之内直樹先生は僕たちのために時間を割いてくださり、熱心にご指導してくださいます。とてもありがたいことです。

さて、最近の男子ソフトテニス部の成績は、東予総体の個人戦で1ペアが優勝、1ペアがベスト4、1ペアがベスト8で県大会へ出場することが決まりました。団体戦も県大会へ出場することはできませんが、惜しくもベスト8で終わってしまいました。しかし、今のチームは勢いがあり、メンバーも実力者揃いです。だから、県大会では団体優勝してインターハイ出場も夢ではないと思います。今まではインターハイ出場を目標としてがんばってきました。この目標を達成できるようにこれからも努力を重ねていきたいと思っています。

こんにちは。男子ソフトテニス部です。僕たちは西高の校内ではなく、校舎から少し離れた所にある、第2グラウンドでほとんど毎日活動しています。そのため、僕たちソフトテニス部がどれくらい練習しているのか、どんな練習をしているのかをご存じない方も多いのではないかと思います。だから今からソフトテニス部のことをより多くの人に理解していただくために詳しく紹介していきます。

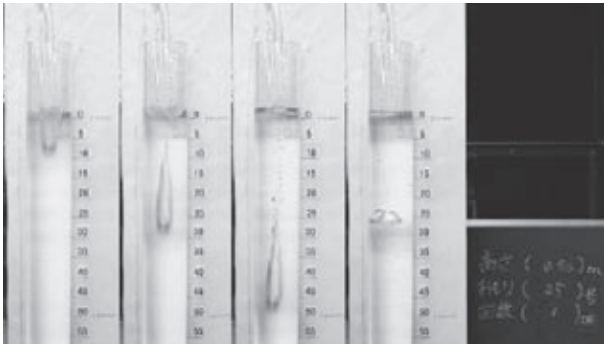
このコート整備はこれまでやってきたものの練習よりもしんどく、つらいものでしたが、コート整備をした後のみんなの顔は達成感で満ちあふれ、とても輝いていました。それにより、コートの水はけも良くなり、より使いやすいコートに生まれ変わりました。コートでボールを打つ練習も大切ですが、自分たちが使わせてもらう場を、自分たちが整備することもスポーツマン、いや、人として大切なことなのではないか、この時僕はそう感じました。

雨が降っている日は、第2教棟の4階を主に使用し、筋力トレーニングに励んでいます。1時間程しか行いませんが、とても内容が濃く、トレーニングを終えた後には、本当に筋肉がついたような気がするほどです。また、雨は止んでいくけど、雨の影響でコートが使えない日は、第2グラウンドで素振りをしたり、山根公園や河川敷のコートまで行って通常どおりの練習をします。

部活動

“泡のダンス”

物理部 部長 田窪 智也



いきなりですが、皆さんは西高物理部というのとはとても歴史のある部だということを知っていますか？物理室は過去に僕たちの先輩方が受賞した賞状や楯、トロフィーでいっぱいになっています。中には全国大会でも上位に入賞し、世界大会までこまを進めた先輩や、物理オリンピックというハイレベルな問題を解いて競い合う大会で、あの灘高やラサール高を押しつけて5名のみが選ばれる金賞に選ばれたすごい先輩方もいます。そんな先輩方をもつプレッシャーを受けながら、僕たちも少しでも先輩方に近づけるよう毎日活動に励んでいます。

そんな僕たちも去年顧問である園部先生ご指導のもと、作成したデビュー作「泡のダンス」が日本学生科学賞という大会で県審査では「愛媛県知事賞」、全国審査では2等受賞、そのうえ「学校賞」という三つの高校しか選ばれない賞に選ばれ部員が全員一年生ながら快挙を達成しました。そのこともあって今では二年生4人、一年生10人という、念願であった女子部員も入り、現在にぎやかな部活となっています。

ところで皆さんは物理が好きですか？おそらく大半の人が「いいえ」と答えると思います。確かに物理は覚えなければならぬ公式がたくさんあったり、その運動をイメージしにくかったりして頭を悩ませられ

た人も多くいると思います。そのため物理というのはいあまり肯定的に受け止めてもらえません。しかし物理も見方しだいで面白く感じる事ができます。僕たちは1年間活動をきて、机にばかり向かうのが勉強じゃない、という結果を得ました。

入部当初の僕たちは、物理の知識なんて中学校の時に習ったたかが知れた量で、テーマも決まらず、論文の作成の仕方もなく、部員は受験勉強真っただ中でなかなか顔を出せない三年生が2人いるだけ、という状況に正直愕然としました。部員もほとんどが初対面で、互いにきまらず、話せるようになったのも半年かかり、最初はつまずいてばかりのスタートでした。

やっとのことでテーマが今回の論文「泡のダンス」のテーマでもある「泡」に決定し、ほっとしたのもつかの間、何を実験すればよいかわからない上、全員一年生でまとめ役がないのでなかなか全員がまとまらず、部活としてほとんど機能しませんでした。

結局、園部先生にうながされ、泡を発生させる装置を作ることになりました。この発生装置の作成は僕たちにとって初めての大きな壁となりました。想像しにくいかもしれないですが目に見えない、触ることもできない空気を2メートルもある水槽の底に移動させるというのは容易なことではない

のです。案の定僕たちは出す案をことごとく裏切られ、途方にくれてしまいました。

しかし三ヶ月もたった頃、偶然からではありましたがようやく装置を完成させることができました。僕たちは物理部に入って初めて達成感というものを感ずることができました、その後もデータを取る際に使ったパソコンやビデオカメラの使い方に戸惑い、論文の作成に戸惑い、さまざま壁が僕たちの前に立ちはだかりました。

そんな壁を乗り越えていくうちに、物理部って結構アクティブだなあと感じ、机に向かうばかりの部活だという先入観もなくなり、園部先生に指導されながら苦労の末、ついに締め切りぎりぎりに論文が完成し、僕たちはまだ受賞していないのに満足感に浸ることができました。

去年はたくさん賞を取ることができました。これほど大きな成果を上げることができたのも園部先生をはじめ、たくさん理解ある先生方のご協力があったからです。そんな先生方とめぐり合えた僕たちはとても幸せです。そんな先生方のためにも今年も上位を狙って論文を作成していきます。今年の僕たちの目標は、先生に頼りすぎないこと。去年の成果で僕たちも俄然やる気が起こっています。今年こそは自分たちの力で賞を勝ち取ってやりたいと思います。応援よろしくお願いします!!

母校の概況

Nihama-Nishi High School

百周年に向けての第一歩



校長 上田耕三

樟樹会の皆様におかれましては、ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。また、日頃から母校新居浜西高等学校の教育諸活動に対し、格別のご支援・ご協力を賜っておりますこと、心より厚く御礼申し上げます。

創立90周年記念事業

おかげをもちまして昨年度の創立90周年記念事業は滞りなく盛大に実施されました。9月8日には、同窓会を中心とした記念事業実施委員会の皆様から贈られた新しい

掲揚台に悠然と翻る緑の校旗のもと、記念運動会が実施されました。創立90周年を称える4団合同での運動場を埋め尽くす応援に観客の方々も感動しておられました。また、10月26日の記念式には多くの同窓生の皆様にご列席いただき誠にありがとうございました。大和ハウス工業(株)社長村上健治氏の記念講演の迫力には生徒も圧倒され、変化の激しい世界を乗り切るために全身全霊を傾けているお姿に感動していました。午後からの曾我部清典氏の芸術鑑賞会では本校プラスバンド部とのコラボレーションもあり、素晴らしいトランペットの音色に時が経つのを忘れるほどでした。本校の同窓生の活躍を間近に見て、生徒も将来の夢の実現へモチベーションを高めたものと思います。

家庭科閉科

昨年度で家庭科が51年の歴史を閉じました。「郷土の改善向上は家庭教育を充実する人材養成にほかなし。」との理念に基づき設立された女学校ゆかりの家庭科も時代の流れに姿を消します。記念に女学校時代のシンボルであった「四恩の鐘」を新たに鑄造し、現在記念館に設置しています。ご来校の折りにはその音色をお聞きになりながら、在りし日の学生生活を思い起こしていただければ幸いです。

進路状況

記念式での講演に触発されモチベーションを高めて受験に臨んだ

今年の卒業生は東大2名(過年度卒を含めると3名)、京大3名、愛大医学部医学科3名の合格を果たすなど未履修の痛手から見事に立ち直りました。これも、同窓生の皆様はじめ保護者・地域の方々のご配慮のお陰と感謝しております。今後とも、地域を愛し、学校を愛する生徒が集う東予東部の魅力ある進学校として地域の期待に応えられる西高で有り続けたいと思っております。

百周年に向けて

来るべき百周年に向け、伝統と校風を受け継ぎ、さらに発展させるべく努力を続けてまいりたいと思います。同窓生の皆様には今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。



▼教職員の異動

▼大学合格一覧

最近3カ年の総合格者数と、大学別合格者数の一部を紹介しておきます。

	18年	19年	20年
国公立大	144	183	160
私立大	519	430	443

北海道大	1	0	1
東北大	0	1	2
筑波大	1	6	1
東京大	1	0	3
京都大	1	2	3
大阪大	5	6	3
神戸大	1	2	4
岡山大	15	20	13
広島大	4	13	10
愛媛大	38	60	34
九州大	6	5	4

▼年間行事計画

月	日	行 事
4	8	全日制入学式・1学期始業式・定時制入学式
5	10	PTA総会
	16	1学期中間考査(～21日)
	30	県総合体育大会(～6月2日松山市周辺)
6	19	西高祭
	27	1学期期末考査(～7月3日)
7	18	1学期終業式
8	25	2学期始業式
9	6	運動会
	7	定時制・通信制県総合体育大会
	29	2年生2学期中間考査(～10月2日)
10	6	2年生修学旅行(～10日)
	6	1・3年生2学期中間考査(～9日)
11	6	定時制運動会
	15	高校総合文化祭(～16日松山市周辺)
12	1	2学期期末考査(～5日)
	19	2学期終業式
1	7	3学期始業式
	17	大学入試センター試験(～18日)
2	26	学年末考査(～3月5日)
3	1	全日制卒業式
	6	定時制卒業式
	19	3学期終業式

転入
教頭 岡田 利文
教頭 楠 禎裕
事務長 三宅 昭治
国語 榎垣 知美
数学 松浦 仁昭
数学 青野 洋介
理科 本村 さやか
理科 田中 正史
理科 十亀 英樹
理科 佐々木 謙一
保健 嘉村 寧子
英語 南野 瞳
事務 藤野 瞳

転出
三島 蓮(学習センター)
三島 蓮
川江 之
今治 南
南 宇和
野村 和
大島 中
三島 東
西条 農
松山 東
弓削 東
山 東

転出
永井 英一
佐々木 利夫
河村 嘉男
塩出 崇
宮本 榮美子
飯野 明典
宮崎 健
藤本 茂州
林 広樹
伊藤 栄一
星加 啓子
町野 博子
河野 智恵美
真木 美恵子
佐藤 江利子
下田 賢吾

北条 之
川江 之
退職
土居 職
今治 職
松山 中央
今治 西
伯方 西
三島 方
川江 之
今治 養護
今治 養護
西条 農
三島 農
新居 浜 東

▼同窓生が母校の教壇に立つ

(氏名) (卒業年) (教科等)
岡田 利文 (S 45) (教頭)
中野 静江 (S 45) (実助)
塩崎 勇人 (S 46) (地公)
津村 和芳 (S 46) (教頭)
石川 美千子 (S 47) (国語)
鴉 裕子 (S 49) (国語)
近藤 千晴 (S 54) (専門員)
渡邊 洋人 (S 54) (地公)
渡邊 夏実 (S 55) (国語)
浅田 武裕 (S 57) (数学)
星加 修史 (S 58) (保体)
五味むつみ (S 61) (国語)

(氏名) (卒業年) (教科等)
井川 美穂 (S 62) (英語)
松長 健治 (S 62) (数学)
井川 紀英 (S 63) (英語)
南 寧子 (H 2) (英語)
日野 真紀 (H 3) (国語)
藤田 和生 (H 6) (理科)
小池 佳子 (H 9) (英語)
尾崎久美子 (H 11) (理科)
寺井 美保 (H 11) (英語)
森本 弘子 (H 11) (国語)
永井 瑞樹 (H 13) (実務)
藤野 瞳 (H 20) (事務)



新体操

佐野 有彩さん

総合1位 全国総体へ

平成20年度愛媛県高等学校総合体育大会 結果一覧

5月30日から6月2日（水泳は6月14日15日）にかけて、県高等学校総合体育大会が松山市を中心に開催され、本校からも195名の生徒が参加し、各競技で活躍した。主な結果は下記の通り。

○陸上競技男子

110mH 田坂 達郎 決勝6位 ※四国総体出場
400mH 田坂 達郎 決勝5位 ※四国総体出場

○陸上競技女子

800m 早瀬 仁美 予選8位
やり投 森 ほたる 予選12位

○バスケットボール男子

1回戦 新居浜西 53-105 松山城南

○バスケットボール女子

1回戦 新居浜西 76-75 三瓶
2回戦 新居浜西 56-114 新居浜商業

○バレーボール男子

1回戦 新居浜西 2-0 川之石
2回戦 新居浜西 0-2 松山北

○バレーボール女子

1回戦 新居浜西 0-2 東温

○バドミントン男子

団体 準優勝 ※四国総体出場
ダブルス 関谷・久保 ベスト8

○バドミントン女子

団体 3位 ※四国総体出場
ダブルス 元山・永易 3位 ※四国総体出場

○卓球男子

団体1回戦 新居浜西 2-3 三崎
ダブルス 石水・永井 2回戦

○卓球女子

ダブルス 伊藤・鈴木 1回戦
シングルス 伊藤 2回戦

○ソフトテニス男子

団体1回戦 新居浜西 3-0 南宇和
2回戦 新居浜西 1-2 今治東
個人 伊藤光・西山 3位 ※全国総体出場

○ソフトテニス女子

団体1回戦 新居浜西 3-0 伊予農業
2回戦 新居浜西 0-2 西条
個人 真鍋・田坂 2回戦

○ハンドボール男子

1回戦 新居浜西 14-18 松山城南

○サッカー

1回戦 新居浜西 1-1 済美
延長 1-1
PK 7-8

○柔道男子

73kg級 佐々木勇人 1回戦

○剣道男子

団体1回戦 新居浜西 2-2 愛光（代表負け）

○剣道女子

団体1回戦 新居浜西 3-2 伊予農業
2回戦 新居浜西 0-5 帝京
個人 源代 えり 1回戦

○弓道女子

団体 予選敗退

○登山

男子 4位 ※四国総体出場
女子 2位 ※四国総体出場

○ダンス

「巡環」 第11位

○硬式テニス男子

団体1回戦 新居浜西 0-3 伊予農業

○新体操

個人 佐野 有彩 総合1位 ※全国総体出場

○空手道

個人 笠原 久規 型 2回戦
組み手 2回戦

○水泳男子

100m平泳ぎ 後田 航平 3位 ※四国大会出場
200m平泳ぎ 後田 航平 3位 ※四国大会出場
400mメドレーリレー 9位
総合 13位

○水泳女子

50m自由形 星加 真帆 4位 ※四国大会出場
100m自由形 星加 真帆 3位 ※四国大会出場
100m平泳ぎ 高津 愛 6位 ※四国大会出場
200m平泳ぎ 高津 愛 6位 ※四国大会出場
400mリレー 10位
400mメドレーリレー 7位 ※四国大会出場
総合 9位

新居浜のき

国道11号バイパス 一部供用開始

平成20年3月22日に国道11号バイパスが一部供用開始されました。今回開通したのは、松原町から西喜光地町間の約500mで、新居浜インターチェンジから市街地への混雑緩和が期待されます。

また、環境にやさしい、地域に親しまれる国道として、地元住民の協力を得て、中央分離帯等に植樹がされました。約40種類、100本の木々が、泉州地区の方々によって、植樹されましたが、

費用の一部を植樹参加者も負担し、今後地域で管理していくようになります。



地域の方の手による植樹の様子

平成の名水百選に つづら淵が 選定されました

環境省では、今年7月に環境問題が主要議題の一つとして開催されることが予定されている北海道洞爺湖サミットにちなみ、水環境保全の一層の推進を図ることを目的に、

昭和60年に選定した「名水百選」に加え、新たな名水、「平成の名水百選」を選定しまし

た。本市の若水町にある湧水である「つづら淵」が県内では唯一選ばれ、6月25日に認定書の交付を受けました。



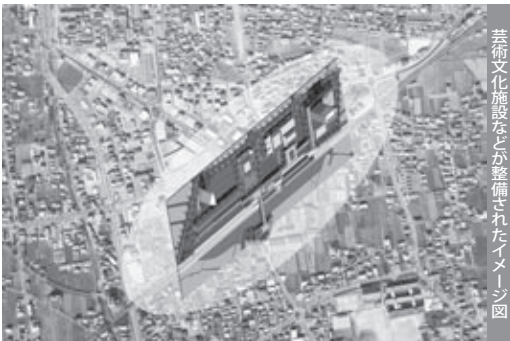
こんこんと湧き出るつづら淵

つづら淵は、昭和53年4月6日、市指定の史跡となっており、古くから良質な水に恵まれ、地元住民が清掃などの保全活動を実施。飲み水にも利用され、毎年1月7日には年男や年女が水をくみ無病息災などを願う伝統行事「若水くみ」が行われています。

変わりゆく風景

～進む新居浜駅前
土地区画整理事業～

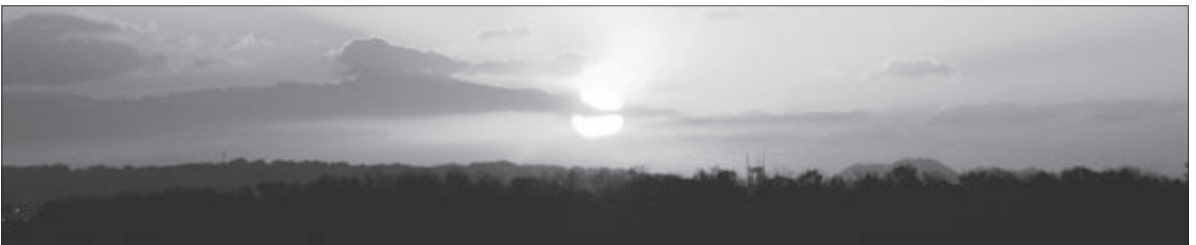
新居浜駅周辺地区が、新居



芸術文化施設などが整備されたイメージ図

浜の顔・玄関口として賑わいのあるまちを創出するため、駅前東側に集客の核となる芸術文化施設、使いやすい駅前広場・駐車場・駐輪場・自由通路などの公共施設の整備や、それらとの相乗効果が発揮できる民間施設の導入に向け、駅周辺地区整備計画を作成しました。

図は、駅周辺の整備イメージです。
平成22年度末に、駅前土地区画整理事業の完成を目指し、平成25年度末には、賑わいあふれた駅周辺地区の姿になるでしょう。



本部だより

平成19年度 樟樹会一般会計収支決算書

平成19年4月1日～平成20年3月31日

項目	19年度予算額	19年度決算額	備考
前年度繰越金	3,102,909	3,102,909	
入会金(全日制)	3,020,800	2,953,600	933人(延べ人数)
入会金(定時制)	230,400	172,800	18人
雑収入	1,000	340,632	預金利息・貯金利子・会員名簿販売
運営会費	1,000,000	1,281,000	397人(3,000円/一口)
収入合計	7,355,109	7,850,941	
会合費	900,000	1,239,650	理事会・総会補助
慶弔費	50,000	25,000	餞別・香典
人件費	1,260,000	1,260,000	賃金
事務費	120,000	72,951	
同窓会賞	15,000	15,000	全日制 2名 定時制 1名
入会祝	700,000	659,340	全日制 313名 定時制 18名
支部への補助金	150,000	50,000	近畿支部総会 お祝い金
旅費	200,000	75,000	近畿支部総会 出席
生徒への補助金	500,000	440,000	四国・全国大会補助
その他の事業費	150,000	117,177	高校野球広告料他
通信費	250,000	212,661	電話代 切手・葉書代
雑費・予備費	200,000	342,932	運営会費徴収に関する費用他
次年度繰越金	2,860,109	3,341,230	
支出合計	7,355,109	7,850,941	

平成20年度 事業計画(案)

月日	会合名	事業内容
3月29日	樟樹編集委員会	「樟樹」19号印刷所承認・概要相談
4月15日	会計監査	平成19年度会計帳簿類
4月21日	樟樹編集委員会	「樟樹」19号原稿依頼先および責任者決定
5月17日	第1回 常任理事会	平成19年度事業報告 平成19年度会計決算報告 平成19年度会計監査報告 平成20年度役員承認 平成20年度事業計画案審議 平成20年度予算案審議 その他
5月19日	樟樹編集委員会	原稿持寄り・ページ構成・レイアウト打合せ
5月26日	第1回理事会	平成19年度事業報告 平成19年度会計決算報告 平成19年度会計監査報告 平成20年度役員承認 平成20年度事業計画案審議 平成20年度予算案審議 その他
6月9日	樟樹編集委員会	前回分校正・第2次原稿持寄り
6月13日	第2回 常任理事会	平成20年度総会の準備について 総会の議事内容、運営方法、会員券の販売 招待者、チラシ、ポスター等 その他
6月13日	第2回理事会	平成20年度総会の準備について 総会の議事内容、運営方法、会員券の販売 招待者、チラシ、ポスター等 その他
6月16日	樟樹編集委員会	校正
6月19日	西高祭支援	模擬店(たこ焼き・焼きそば・フランクフルト・西高どら焼き・ラムネ販売)
6月23日	樟樹編集委員会	最終校正
7月15日		「樟樹」19《90周年特集》号発行
8月2日	総会・懇親会	平成19年度事業報告 平成19年度会計決算報告 平成19年度会計監査報告 平成20年度役員承認 平成20年度事業計画案審議 平成20年度予算案審議 その他
1月下旬	第3回 常任理事会	平成20年度の反省及び平成21年度の予定 役員構成について その他
2月上旬	第3回理事会	平成20年度の反省及び平成21年度の予定 役員構成について その他
2月下旬	同窓会入会式	新会員へ入会記念品贈呈
3月上旬	同窓会賞授与	卒業式にて授与
備考	『近畿くすのき会』総会6月21日(土)開催	

同窓会運営会費ご協力をお願い

盛夏の候、皆様におかれましては、益々ご健勝で活躍のこととお慶び申し上げます。日頃は、樟樹会活動にご理解ご支援賜りまして誠に有り難く存じます。

さて、樟樹会では、7年前の総会で運営会費による支援制度が承認され、30,000人を超える同窓会員がいらっしゃる中で、毎年約400名の会員からご支援をいただいております。

この会費を元に、在校生の四国大会・全国大会出場者への補助、同窓会入会式では新会員となる卒業生全員に入会記念品を贈呈、卒業式には同窓会賞の授与、そして高校野球大会では同窓会から広告を提供し、事業としては学園祭・西高祭での模擬店の開催、名簿の管理、同窓会誌「樟樹」の発行、及び各支部からの問い合わせにお答えする事務手続き等の活動をしております。

さらに、2017年の新居浜西高等学校創立100周年を迎えるにあたり、同窓会としても協力・支援活動をしたいと考えております。

つきましては、母校新居浜西高在校生及び卒業生皆様の為の活動でございますので、何卒趣旨を充分ご理解頂き、本来の正しい運営が出来ます様、OBの方々の運営会費へのご協力・ご支援をお願い申し上げます。

当面は、OB支援者1,000人のご協力を目標としておりますので、宜しくご援助お願い申し上げます。

終わりになりますが、皆様方のご健勝ご多幸をお祈り申し上げます。

— 総会および懇親会のご案内 —

日時 平成20年8月2日(土) 総会 17時30分開会 懇親会 18時30分から
場所 レイグラッツェ ふじ
懇親会チケット発売中(3,000円)

当日も受付ます。お気軽にご参加下さいますようお願いしております。

ぼちぼちお返しやで

豊島眞介(昭和42年卒)

「団塊」真つ只中のわれらが世代。多感な時期を彩ったのはビートルズに大学紛争……そしてジョン・F・ケネディ。彼の米国大統領就任演説の1節はいまだに記憶に残る。「国が諸君のために何をしてくれるかを問うのではなく、諸君が国のために何をなすうるかを問いたまえ」。

いやはや、かつこい。ずっと心に引っかけた重みのある言葉でもある。私たち団塊世代は数の圧力で大学紛争当時だけでなく、いろいろなものを破壊してきた。代わりに何を創ってきたのだろうか。何か社会に貢献したか。前の世代の価値観をそのまま受け継いで、無闇に突っ走ってきただけではないのか。それが今の時代を悪くしているのではないか。自問自答を繰り返して私なりに結論を出した。私たちは改めて社会・国と正面から対峙するとともに、ぼちぼち「お返し」をする時期にあるということだ。

毎日新聞社に34年間勤めた。大半を記者・編集者として過ごし、最後の6年間、企画・事業に携わった。これが滅法面白かった。一から手がけたものに「日中韓子ども童話交流」事業がある。日本と中国、韓国の小学校4年生から6年生まで計1000人を日本に集めて、1週間合宿させ童話をキーワードに交流させるといふもの。実質的に国の事業を請け負って2002年にスタートした。

まずは参加者を集めるのが大変だった。「靖国」問題が中国、韓国との間に微妙な影を落とし始めた頃。中国では在瀋陽の日本総領事館に脱北者5人が逃げ込んだものの、武装警官に連行されるという事件も起きていた。正面から中国に招待状を送っても無視されかねない。新聞社の他の事業で懇意の國務院の外郭団体を通じてエールを送り、中国の子どもたちは来ることになった。韓国は政治家が動いて韓国大使に話をつけた。さて、日本。読書活動で表彰されている全国の小学校の校長に電話して、1人ずつ推薦してもらった。中には希望者を集めてジャンケンで「代表」を決めた学校もあった。

8月19日、東京・上野の国際子ども図書館で結団式。主賓の小泉総理が「子どもたちよ、よく遊べ」と呼びかけたのを記憶している。東京・淡路島——大阪を巡ったこの年の交流。中国の子どもたちは「日本に来て、どこも清潔できれいなのは驚いた。空港のロビーの床もうちの玄関みたいにピカピカだった」と口をそろえた。「教えられたことと違って、日本の人はみんな親切でやさしい」とも話した。最後の朝、子どもたちは日本も中国も韓国もなく抱き合って涙を流し、別れを惜しんだ。「この交流を20年続け、子どもたちが日中韓の中核に座ったときに日本と中国、韓国は本心に仲良くなれる」と実感した一瞬だった。この交流は今も続いている。

第二の職場「毎日文化センター」で私が今取り組んでいるのは、クラシックのワンコインコンサート。昔、毎日ホールで使っていた名ピアノ「ベヒシュタイン」を核に、5000円玉1個で国際的な音楽家の演奏を楽しめるのが売り。観客の満足しきった笑顔がうれしい。役得で私も演奏を楽しんでいる。今年1月来演したクラシックトランペットの曾我部清典さんは西高の4年後輩。奇遇に驚いた。さて、還暦を迎える同志よ、いや同期よ。人生はまだ長い。世話になっ



◎略歴
1971年、早稲田大学第一政治経済学部卒業、毎日新聞社入社。
大阪本社整理部、社会部、高松支局長、総合事業局長を経て、2006年から毎日文化センター社長。
大阪府吹田市在住。

同期会

新居浜西高等学校卒業

50周年同期会

稲見 弘（昭和34年卒）

貴方には、是非会いたい同期生は居ませんか？家が近所だったひと、遊び友達、喧嘩友達、初恋のひと。

同期会は、青春時代に帰り懐かしい友達と楽しい団欒の時を享受する会です。

どうしても貴方（貴女）に会いたいと楽しみにしている友がいま。旅行が楽しいのも足腰の丈夫な時。

この様な案内文で、卒業50周年同期会が始動しました。

平成20年5月31日（土）午後2時、同窓会館の2階会議室で序幕の茶話会が、新居浜の世話人を代表して畑達志から歓迎の挨拶があり、再会を喜ぶ、青春時代に帰

る会話が始まりました。

茶話会には、男28名、女22名 計50名が参加しました。

懇親会場の松山には、体調不良で行けないが茶話会で友達に会いたい話したいと参加してくれた重見君、十分願いは遂げられたと信じます。

鉄筋3階建ての校舎、昔の面影の残る部屋や食堂の建物、グラウンドを散策しながら、部活で行き交う生徒から、「今日は」と挨拶され涙ぐんだのは僕だけ？

松山道後、大和屋本館での懇親会参加者は、男38名、女37名 計75名でした。能舞台前で記念写真



を撮り、懇親会は午後7時、豊敷きの大宴会場にて、松山の世話人代表高橋徹の挨拶から延々3時間。

最後に古希の再会を大阪でと約束し、高校3年生を大合唱。熟睡。完

第12回近畿くすのき会

総会開催報告

平成19年6月30日、前年と同じ大阪全日空ホテルに近畿地区在住の卒業生50人余、一堂に集い、同窓会本部から来賓のご出席をいただき、総会を開催（役員改選、会計報告）しました。

およそ30分の総会について、今回は、岩佐しおりさん（昭33年卒の岩佐康雄さん、34年卒の敏昭さん兄弟の姪、南米の楽器アルパの演奏で活躍中）に南米風リズムの曲、また懐かしい日本の唄を演奏ねがい約30分間アルパの清澄な音色を鑑賞しました。

その後、ご来賓の音頭で乾杯して懇親会「総会よりこっちがメインというのが本音ですが」を開催、久しぶりに会う旧友と互いの健在をたしかめ、また、初対面の隣席の人とも先輩後輩の区別・遠慮なく情報交換、あるいは太鼓台・秋祭り、

故郷の変貌、知人の近況、懐旧談、はたまた政治談（まああったかは定かではありませんが）等々、歓談・会食であつという間に時間が過ぎ、最後にアルパとハモニカ（昭29卒の鈴木英夫さん）の伴奏で「ふるさと」を合唱し、約3時間の総会・懇親会を終え、次回の再会を約して、散会しました。

次回もまた多数ご参加（初参加も大いに歓迎）をお待ちしております。

基 孝輔（昭和35年卒）





同
期
会
俣
り

平成16年卒業
同期会

小路 輝
(平成16年卒)

平成20年1月2日に
レイグラツツェふじ
にて盛大に開催されま
した。

昭和50年卒業
第4回同期会
平成19年8月12日
於「ユアーズ」

我々50年卒の同期会
も数えて4回目です。
今回は、「HAPPY
OVER 50」とい
うことで大いに盛り上
がりました。

松山樟樹会

対象者：松山市とその周辺在住者
会長：薦田 伸夫
事務局：松山市高岡町209-3
(医法) かとう 歯科医院
tel 089-927-7878
fax 089-927-7788
事務局長：加藤 弘正
3年毎に 総会、懇親会
今回は、2009年秋の開催予定

近畿くすのき会

対象者：近畿地方とその周辺在住者
現在会員 約1,700名
会長：加藤幸則(昭和26年普卒)
事務所：大阪市北区西天満4-8-2
北ビル本館6階601号
新日本綜合法律事務所
tel 06-6363-3743
fax 06-6363-5605
毎年6月末頃 総会、懇親会
総会費は新卒者：無料、学生：半額

関東にお住まいの方へ

このたび、関東くすのき会(仮称)再設立準備メンバーを任意で募り、設立に向けて活動を始めています。つきましては関東近郊にお住まいで、ご参加いただける方は、連絡先を新居浜の樟樹会事務局までご連絡ください。また、お知り合いの方へのお声掛けもお願ひいたします。
メンバー代表 井上 六郎

昭和49年同期会 開催のお知らせ

北京オリンピック開催年の今年8月、4年振りの同期会を開催いたします。前回にも増して、多数の皆さんの参加を祈念しています。

日時：2008年8月16日(土) 18時～
場所：ユアーズ 〒792-0021 新居浜市泉宮町5-8 TEL 0897-33-3535
会費：男性 8,000円 女性 7,000円
連絡先 〒792-0888 新居浜市田の上1-4-33 TEL 0897-46-0306
世話人代表 今井 基博

昭和42年同期会 開催の御案内

新居浜西高を、昭和42年3月に卒業して、はや40年を越えました。そこで、4年前のお約束の通り、オリンピックイヤーの今年、下記のとおり同期会を開催いたします。万障お繰り合わせの上で出席下さい。

日時：2008年 8月13日(水) 18：30～
場所：リーガロイヤルホテル新居浜 〒792-0007 新居浜市前田町6-9 TEL 0897-37-1121
連絡先 〒792-0026 新居浜市久保田町3-6-20 TEL 0897-33-4756
昭和42年同期会を成功させる会 会長 山内 仁

編集後記

四川大地震に驚いていたら、岩手・宮城内陸地震、地震の規模としては同等以上とか、同窓生に被災された方が居ないか心配しております。

2ページの拙稿「合格たこ焼」は、創立90周年記念誌から転載したものです。が、学校、同窓会、編集委員会の方々のご理解とご協力を得て、文中の①が2ページ写真の通り作成されました。また、②についても、6月17日、笠原久規生徒会長とともに参拝し、ご祈禱していただき、本年の西高祭に間に合いました。あとは「西高名物」になってくれることを願うのみです。

同窓会誌「樟樹」も、次なる100周年に向け、会員相互のコミュニケーション誌としての役割を果たすべく編集委員一同頑張っております。会員各位の応援をお願いいたします。

発行所 樟樹会

〒792-0024

新居浜市宮西町4-46

TEL 0897-32-4331

FAX 0897-32-4331

近藤 博敏

畑田 雅敏

株式会社サラト

発行日 平成20年7月15日

委員長 近藤 博敏(昭44普)
委員 藤本スズ子(昭18女) 安藤 寛和(昭58普)
井上 和子(昭20女) 越智 孝司(平2普)
世良 寛克(昭26普) 南 寧子(平2普)
武田 信之(昭28普) 日野 真紀(平3普)
近藤 司(昭42普) 佐藤 尚史(平8普)
畑田 雅敏(昭44普) 尾崎久美子(平11普)
伏見 紀子(昭44普) 日野 愛子(平12普)

